

0005

光市医師会報

平成12年8月号

No. 334



光市医師会

会員エッセイ

韓国えの旅

十数年前であろうか、医師会で、医師と家族だけで、親睦と息抜きの目的で海外旅行を試みた。確か台湾え行った様に記憶している。その後は香港。その内、又行こう云いながら中々チャンスがなかった。先日、何かの機会が話が出て、近藤君の奥さんから「何時行くの」と責められ、竹中夫妻から「何処かえ行こう」と突かれ、結局、未だ行った事のない韓国はどうか？との提案に「じゃあ、それにしよう」と決定する。

早速、スケジュール作りを始めた。私自身、韓国からの引揚げで、中学校は釜山なので数回、韓国え出掛けた事がある。福岡からの飛行機では空港の待ち時間が長いので、船は如何と調べてみる。

福岡の国際埠頭から出航、釜山港まで二時間五十分。出航一時間前に出国手続きをすれば良く、飛行機と異なり、釜山の街の中に着くので時間の節約になり、旅費も安いので船とする。

七月二十日が祭日で休み、二十一、二十二日の二日間を休んで、二十三日が日曜日。病院を留守にするのをなるべく少なくと考え、最低二日間休める人を募集。その結果、私達夫妻、竹中夫妻、近藤、前田、吉田の御夫人方、七名のグループで出発する事となる。

七月二十日、朝、徳山駅、新幹線口に集合、一緒に博多え。福岡の国際埠頭え。通関は、飛行機の様にはうるさくなく、私達夫婦二人分の入ったスーツケースも、自分で船え運び込む状態である。港の免税店で買った缶ビールを飲み乍ら弁当を船の中で食べる。窓から見える海はべた凧。船はビートルズⅡと名前が船首に書いてあり、水中翼船に似た高速艇である。乗り心地は満点。飛行機の様には落ちる心配も無く、航跡を残して海上を滑る様に

富恵外科 院長

富恵 哲先生



慶州の古墳

走っている。まどろんだり、喋ったり。船酔いを心配して居た女性軍ものんびり仮眠。途中、対馬を左に眺め、スピードをあげる。快適な船の旅である。予定通り、二時間五十分で釜山港え着く。素晴らしい大きな港である。

入国審査も通関も型ばかり、飛行機のもそれとは雲泥の差である。

出口に光医師会様と書いたプラカードを持ってガイドの姜さんが立っている。大阪に父親の仕事の関係で数年滞在した事があると話している。上手な日本語である。初めての海外旅行コースなので一寸心配したものこれで一安心。

マイクロバスで釜山駅え。十分足らずで、駅え着く。案外、綺麗な、広い駅である。昔は煉瓦作りの重厚な建物であったと思うが・・・大分違っている。喧騒な場所であった様な記憶があるが、立派な駅である。

待合室でゆっくり休んで、セマウル号の指定席に座る。グリーンは無い由。セマウルとは、新しい建設に邁進との意である様に記憶している。

汽車は二人掛けの椅子が両側にあり、真中が通路となって居り、ワゴンを押した男性が韓国語で声をあげ乍ら売って歩いている。ワゴンの上は、飲み物、食べ物、新聞が並らんで居る。反対側の座席の学生らしき男の子は、“のしいか”とジュースを買って食べたり、飲んだりしている。“のしいか”は日本だけのものと思ったら韓国にもあるのは意外であった。密陽駅に停車。確か、中学校の同級生の一人は、此処から来て寄宿舎生活を送って居たと昔を想い起こす。

市街に入ると十字架の立った建物が多く見られる。教会である。15~20%のクリスチャンが居るとか？昭和の一桁時代にもう尖塔の教会が建っていた様に記憶している。布教活動が盛んであった事、今更思い起こさせる。

車窓から平行している洛東江を眺める。雨が降ったのであろうか、満々と濁流を湛えている。

東大邱駅を過ぎ、やがて大田に着く。なかなか立派な駅である。人口200万、韓国五番目の都市とか。駅前を花壇で飾ってある。この光景は昔と全く違う。

マイクロバスで儒城温泉に向けて行く。スケジュールでは、もう少し早く着く予定が、案外時間を取られる。ホテルへ入る前に夕食をとるガイドの勧めで食事を摂る事とする。

第一日目の夕食は韓定食。その昔、家内と二人で食べた韓定食は皿の数ばかり多く、内容が貧弱であったが、今回は大皿に盛って、それを取り分けている。銀色のステンレスの箸とスプーンが並べてある。スプーンは扁平で柄が長く格好が違う。ビール、ジュース、で旅の無事を願って乾杯。食事は余り油を使ってなくヘルシーであり、野菜が多い。色々なキムチが出ている。皆、キムチを食べているので一安心。

ホテルへ行く。Hotel RIVERA。名前が変わっているの、帰って調べてみると、地

中海の有名な避暑地の名前である。ベルボニーも中々上手な日本語を喋っている。もう遅いので温泉はCloseとの事、部屋でシャワーを浴びて就寝。

朝、5時30分起床。折角、温泉に来たのだからと、竹中君と地下一階の風呂に行く。湯船は健康パークと同様、色々なタイプがある。水風呂あり、打たせ湯、ジェット湯ありで、数人の韓国人が風呂を楽しんでいる。風呂に入ってゆっくりする風習が韓国に有ったのかと意外であった。

朝食は韓国式の料理のバイキングである。味噌汁と漬物を食べる。米のご飯もまあまあ。

食後、早速、公州と扶餘の見物。百済の都なので観光客が多いと思ったが殆ど見掛けない。ガイドの姜さんも、扶餘を訪れたのは初めとか・・・。武王の墓、公州博物館を尋ね古い物を見て歩く。何れも見慣れた型ばかりで、朝鮮を経由して、日用品、武具、仏具等は日本へ入って来たのであろう。

昼食は変わったものをと、参鶏湯(サムゲタン)とする。湯をタンと読むのは中国語かと思うが。ルーツは案外中国に有るのかも知れない。小さな鶏(専用に飼育されていると云う)の腹に朝鮮人参、もち米、なつめ、等々強壮剤を詰めた「とり」がスープの中に浮かんでいる。熱いのでフウフウ吹き乍らたべる。横を見ると韓国人も、扁平な銀色のスプーンと箸を使い乍ら食べている。朝鮮人参の匂いに少し抵抗があるものの、まあまあ頂ける。

ついで、慶州へ向けてバスで出発。4時間半、立派な高速道路を100キロ位のスピードで走る。その昔、山々は禿山であったが、今は、すべて緑に被われている。朝鮮の藁屋根も見ることが出来ない。赤、青のカラフルなスレートの屋根を沿

道に多く見る事ができる。国民全体が裕福になったのであろう。途中、何ヶ所か高層のマンションを建築中であった。山間の小さな丘に、突然、数棟のマンションが現れるのは偉観であった。ガイド嬢の話では、33坪のフロアーが一千万円するとか。それを若いサラリーマンが買っていると喋って居る。生活力が違うのであろうか？ リッチである。

慶州に到着。長い車の移動に少々疲れ気味。ホテルに行く前に夕食。予めオーダーして居た本場ものの焼肉とする。カルビー二人前。肋骨に附いた肉を鉄で切り皿の上へ並べてくれる。日本と違って、ちしゃの葉、ごまの葉（えごま）にくるんでコチジャン（唐辛子味噌）をつけて食べる。日本人向けであろうか、思った程、辛くない。野菜と肉を併せて食べるのは理にかなった食生活であろう。此処でもキムチが沢山出ている。

ホテルに直行。慶州ヒルトンホテルえ宿泊。翌日、起きてホテルの周辺を散策。人工の湖、普門湖の周りは散歩道となって居り、静かな湖畔を竹中夫婦と散歩。外人も歩いている。途中、韓国人が寄って来て色々話かけて、説明をしてくれる。後刻、土産物の屋に連れて行かれる。説明してくれたのは、何か買わず積もりであったらしい。こんな所でも、商魂の逞しいのにびっくり。

ついで、石窟庵、仏国寺の古刹を見学。山の頂上にある石窟に3メートルもある石仏が鎮座している。東方を向いて坐っている。昔と違って、仏像の前を厚い硝子で遮ぎってあり、仏像を触る事は出来ない。その威容に驚くのみ。下山して仏国寺を参拝、多くの参拝客がきている。

慶州の街の中、至る所に古墳群を見る事が出来る。その中の一つ、オープンされた天厚塚を訪れる。王様の棺、副葬品、等、数多く展示してある。埋葬した塚の大きさ副葬品の多寡が権力の強さを表して居たらしい。

国立博物館を訪れる。近代的な立派な建物。中には、新羅王朝時代の宝物、其の他、数々のものが整理され、展示されている、王冠、装飾品の立派なのに目を見張る。

陶芸村を訪れる。登り窯で、青磁、白磁の壺、碗、皿、等を焼いている。又、作陶の過程も見学させてくれる。

さすがに歩き廻ったのと暑いので、ばて気味。昼食はビールで喉を潤し、韓国名物のピビンバとチジミを食べる。日本でも焼肉屋へ行くとピビンバのメニューがある。現地の本物は石の碗を熱して、野菜、卵、生肉マチジャンを載せた混ぜ御飯である。辛いので結構食がすすむ。うまい。チジミは日本のお好み焼の類で、中に‘ニラ’がはいっている。此処でもキムチ。何れも抵抗なく頂ける。

お土産物の屋で、オンニャン産の水晶と云われて、家内は水晶の飾り物の原石を買っている。オンニャンは、私の生まれた所なので、記念に買うのだと云っている。果たして本物か？

今夜泊まる海雲台ビーチホテルえ向かう。丁度、土曜日なので海水客の客で街はごったがえしている。南鮮では有名な海水浴場であると、ガイド嬢は説明している。夕食は中華料理。

折角来たのだからと、男性はFoot Massage、を試み、女性はエステを行う。日本語の喋れない女性が足の裏の‘つぼ’を三角錐様の木片で圧迫マッサージをしてくれる。その昔、バンコックで行ったのに比べ余り芳しくない。その割に金だけ按摩代なみに取られたので一寸、心外。ホテルえ引揚げる。最後の夜、随分歩き廻ったので熟睡。中には、それでも足らず遅く帰った人が居たとか？

翌日、釜山観光。龍頭山公園え。その昔韓国で二番目に大きい神社の有った場所で中学生の時、正面から急な、長い石段を神前の広場まで行き参拝したことをおもいだす。

李春暖の銅像が日本の方を向いて建っている。豊臣秀吉の朝鮮征伐の時の朝鮮の名将

で、水軍を率いて日本軍を痛めつけたと云われている。その後にタワーがあり、登ると釜山市を一望に出来る。昔、此処から対島をかすかに見る事が出来た。今回はガスで見る事が出来ない。

ついで、名所の国際市場を見物。青空の下、色々なものを道路端に並べて売っているアメリカ軍の放出物資を並べたのが発祥であるとか。生きた魚、生きた鳥、塩づけの魚、半分腐りかけたものも並べてある。赤い唐辛子の山、珍しい野菜の山、壮観である。

免税店で買い物。ロッテ百貨店のワンフロアーに免税店が並んでいる。ぐるぐる見て廻った後、欲しかったモンブランのシルバーの万年筆を買う。先日、黒いエボナイトの万年筆を割ったので、シルバーを探して居たがやっと手に入れる事が出来た。一本七万円也。売り子に聞くと、免税でないで十万円以上とか・・・少し儲かった様な気がする。

最後の昼食はプルニギ。焼肉カルビーと違ったタイプの味が付いた焼肉で、同じくチシャの葉にくるんで食べる。またまた、色々な種類のキムチが沢山出てくる。今回の旅行ではキムチだけは満喫。でも日本に帰ったら、にんにく臭いと敬遠されるであろうと少々、思案する。

最後のおみやげ店でキムチのパックを買い込む。日本えのおみやげは、これが絶品。看護婦さんのおみやげもキムチ。

埠頭でビートルズに乗り一路、福岡え。ビールを飲んで船中で熟睡。目を覚ますと、もう福岡港近くの島が見える。

六時四十分、時刻表通り、福岡え到着。通関も無事終了。

やっと日本の土地を踏む。見たり、食べたり、飲んだりのゆっくり楽しい旅であった。



釜山龍頭山公園

学会報告

第38回山口県内科医会学会を終えて
光市内科医会会長 河村康明

平成12年8月27日(日)、光商工会館において、第38回の山口県内科医会学会が河内山清会長のもとで開催されました。前会長赤崎信正先生の突然の栄転で本年4月に強制的に会長に選出され、学会運営に手を染めることとなりましたが、幸いにも赤崎前会長が1年半前より、演者の選出を終えられており、無事に進行させていただく事ができました。

当日の進行状況は午前10時より

1、教育講演

I 肺結核の画像診断

II 最近の放射線医学の進歩

山口大学医学部放射線医学講座

教授 松永尚文 先生

2、特別講演(1)

内科臨床に役立つ精神医学的知識

琉球大学医学部保険学科精神衛生学

教授 石津 宏 先生

3、特別講演(2)

冠状動脈血行再建術の現状と将来展望

川崎医科大学胸部心臓血管外科学

教授 種本和雄 先生

4、特別講演(3)

緊急内視鏡検査

社会保険徳山中央病院

院長 井上幹茂 先生

以上の4演題である程度、内科学の分野を埋め合わせできるように計画致しました。特に石津先生は光市出身でご年配の先生方には顔なじみの方々もいらしゃり、遠路、沖縄より駆けつけていただいて、深く感謝致しております。

山口県内科医会学会は本年度で38回を数えますが、他の郡市医師会が3~4回開催しているのに、なぜか光市のみ1回も開催がなく、今回が初開催でした。どのような経緯でこの様な事態となったかは判りませんが今後、10数年先には再び開催がめぐってくると思えますので、内科医会会員のご協力をよろしくお願い致します。

残務整理もほぼ終了し、何とか医師会からの物心両面のご援助によって赤字を出さずにすみそうで一安心しております。

.....あとがき.....

今年は、光市での学会の開催の多くひらかれた、当たり年でした、お陰さまで台風は来なかった。(文責 兼清)

平成12年8月度定例理事会

日時：平成12年8月9日

場所：光市医師会事務局

議題：

- 1、平成12年度児童虐待防止ネットワーク連絡協議会の報告(河村理事)
- 2、郡市医、救急医療担当理事協議会の報告(光武理事)
- 3、医師国保組合通常総会・郡市医師会長会議の報告(前田会長)
- 4、郡市医妊産婦乳幼児保険担当理事協議会の報告(梅田理事)
- 5、休日診療所について(前田会長、光武理事)
- 6、県医学会・県医師会総会の会計報告(藤原理事)
- 7、8月例会について(山本理事)
- 8、周陽地区健保連協議会との懇談会(前田会長)
- 9、その他

発行所	光市医師会 TEL 0833-72-2234
発行者	前田昇一
編集者	会報担当
印刷所	光市光井一丁目15番20号 中村印刷株式会社